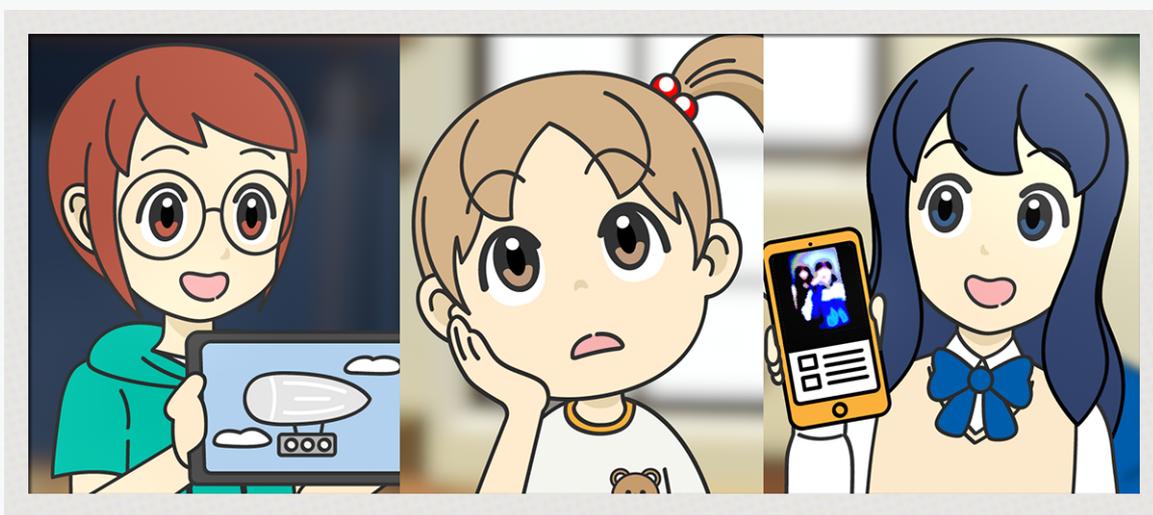


経済産業省 STEAM ライブラリー

# GIGA スクール時代のテクノロジーとメディア

デジタル・シティズンシップから考える創造活動と学びの社会化



教材シリーズのご案内

無料で  
ダウンロード  
できます



## 保護者・教職員の皆さまへ

GIGA スクール時代を迎えた今、子どもたちの学びや生活を支える考え方として、「デジタル・シティズンシップ」が注目されています。

「デジタル・シティズンシップ」の理念は、善き使い手としてデジタル・テクノロジーをポジティブに活用し、子どもたちの自律と問題解決を促すことにあります。子どもたちにデジタルデバイスが急速に普及するのに合わせ、デジタル・シティズンシップ教育の実践が世界中ではじまっています。

これらを背景に開発されたのが「GIGA スクール時代のテクノロジーとメディア - デジタル・シティズンシップから考える創造活動と学びの社会化」教材シリーズです。この教材は、[経済産業省が公開する STEAM ライブラリーにて無償公開・配布されており、どなたでもご自由にお使いいただけます。](#)

①動画、②ワークシート、③指導ガイド、④授業用スライドをパッケージとして、小学校低学年から高校生までを対象とした8コマで構成しています。子どもたちと教員のみなさま、保護者のみなさまが、ともに「デジタル・シティズンシップ」について考え、対話するための教材としてぜひご活用ください。

国際大学 GLOCOM 主幹研究員 / 准教授  
豊福 晋平



### ■未来の教室について

経済産業省では新しい学習指導要領のもとで、1人1台端末と様々なEdTech（エドテック）を活用した新しい学び方を実証する「未来の教室」実証事業を、2018年度から全国の学校などと進めています。

未来の教室ページ：<https://www.learning-innovation.go.jp/>

### ■STEAM ライブラリーとは

経済産業省では、子ども達が「未来社会の創り手」に育つきっかけを提供すべく、産業界や研究機関等と連携し、学際的で探究的な学習のための多様なデジタルコンテンツを開発し「STEAM ライブラリー Ver.1」として2021年3月に無償公開しました。

その後、全国の学校関係者によるフィードバックを踏まえながら、ウェブサイトのデザイン改修、コンテンツの修正・拡張、そして新規コンテンツの追加を実施し、2022年3月にリニューアルオープンしました。

## 教材シリーズ一覧・利用方法

本教材シリーズは、デジタル・シティズンシップの理念と実践をもとに、発達段階にあわせて全8コマで構成されています。どなたでもご自由に、[すべて無償でダウンロード可能です。](#) 教員・保護者のみなさま向けの解説動画もご用意していますので、あわせてご活用ください。

### 小学校低学年向け



### 教員・保護者向け（教材解説）



### 小学校中～高学年向け



### 中学生・高校生向け



### 教材利用・ダウンロード URL

<https://www.steam-library.go.jp/content/132>

（教員・保護者向け）

<https://www.steam-library.go.jp/content/134>



## 教材の構成

コマごとに、4つのツールが用意されています。それぞれライブラリからダウンロードすることができます。また、ワークシートやスライドは Microsoft word 版、ppt 版も用意していますので、カスタマイズしてご利用いただくことも可能です。

### ①動画 (.mp4 形式)



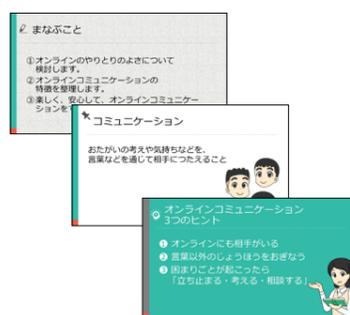
### ②ワークシート



### ③指導ガイド



### ④スライド



## 動画教材：登場人物紹介

子どもたちに学びへのワクワク感を与えるストーリー形式の動画教材をご用意しています。発達段階にあわせて3人の主人公が登場します。



### マキ (小学校低学年向け：1・2コマの主人公)

小学校1年生。甘いものが大好き。学校でパソコンが配られたら、好きな動画をみたり、お絵描きをしたりすることを楽しみにしている。アキやサキがパソコン、スマホを勉強や遊びに使いこなしているのを見て憧れている。



### アキ (小学校中・高学年向け：3・4・5コマの主人公)

小学校6年生。パソコン大好き。パソコンを使って宿題をしたり、学級新聞をつくらたり、プログラミングするのが楽しい。パソコンの使い方がわからなくて困っている友達を助けることにやりがいを感じている。



### サキ (中学生・高校生向け：6・7・8コマの主人公)

高校1年生。高校入学のお祝いにスマホを買ってもらった。学校の授業での調べものをしたり、友達の SNS をチェックしたりとデジタルデバイスを使いこなしているものの、たまにお母さんにスマホの使いすぎを心配される。



## 保護者の皆さまへ：ワークシートの活用方法について

本教材シリーズは、すべてのコマワにワークシートが用意されています。各回の授業の終了時に、子どもたちには授業で考え、書き込みをしたワークシートを、お家に持ち帰って保護者の皆さまとも学びを共有したり、対話をするようにの機会を設けることをすすめるつくりとなっています。授業時間内に限らず、ご家庭で保護者のかたと子どもが共に学ぶ教材としてもご活用ください。



子どもたちが授業で考えたことを保護者のかたと共有しながら対話ができるように、お家のかたからのひとことコメントを記入するスペースを設けています。

※小学校低学年、中・高学年向けのみ

例) ワークシート「メディアの使い方、自分でバランスをとるには？」



## 教職員の皆さまへ：教科との紐づけについて

本教材シリーズは、新学習指導要領のポイントとされる「学習の基盤となる資質・能力」としての「情報活用能力」の育成を目的としています。そのため、対応する教科は横断的で多岐にわたるものとなりますが、ここでは、関連づけが可能な教科をリストアップしておきます。そのため、教員の皆さまが評価をされる際には各教科の指導要領を参照することをお勧めします。

	教材タイトル	学習指導要領	教科
A	小学校低学年向け	"じぶんの" パソコンをまなびにつかうってどういうこと? "じぶんの" パソコンとじょうずにつきあうには?	特別の教科 道徳
	小学校	メディアの使い方、自分でバランスをとるには?	総合的な学習の時間
B	小学校中・高学年向け	ネットでのやりとり、どうすれば相手にうまく伝わる? 責任ある発信ってどういうこと?	特別活動
	C	中学校	オンラインでの発信が未来や社会に与える影響とは? 情報を編集・発信するときの責任ってなんだろう?
高等学校		みんなが納得する社会課題解決って?	情報 総合的な探究の時間 公民 保健体育 特別活動

## 参考文献リスト

デジタル・シティズンシップについて、さらに理解を深めたいという教員・保護者の皆さまに、おすすめの参考文献をご紹介します。

### <デジタル・シティズンシップ>

- ★ 坂本旬ほか（2022）『デジタル・シティズンシップ+（プラス）- やってみよう！創ろう善きデジタル市民への学び』大月書店  
※ 2022年4月18日発売
- ★ 坂本 旬、山脇 岳志（2021）『メディアリテラシー 吟味思考（クリティカルシンキング）を育む』時事通信社
- ★ 坂本旬、豊福晋平、石原一彦、芳賀高洋、今度珠美、林向達（2021）『デジタル・シティズンシップ教育の挑戦』教育文化総合研究所編 アドバンテージサーバー
- ★ 坂本旬、芳賀高洋、豊福晋平、今度珠美、林一真（2020）『デジタル・シティズンシップ：コンピュータ1人1台時代の善き使い手をめざす学び』大月書店



### <教育情報化・教育DX>

- ★ 豊福晋平（責任編集、2022）  
『2030年代のデジタル学習論：教育DXの構想と実践』  
国際大学 GLOCOM
- ★ 豊福晋平（責任編集、2016）  
『智場 #120 特集号 子どもの未来と情報社会の教育』  
国際大学 GLOCOM
- ★ 吉川 徹（2021）『ゲーム・ネットの世界から離れられない子どもたち：子どもが社会から孤立しないために』合同出版株式会社
- ★ マーク・ブレンスキー（2007）『テレビゲーム教育論』東京電機大学出版局



## 教材開発者のご紹介

本教材シリーズは、デジタル・シティズンシップ教育の研究・実践活動を行う有識者の方々に開発・監修メンバーとして参画いただき、映像制作のプロフェッショナルであるNHKエンタープライズとともに、国際大学グローバル・コミュニケーション・センター（GLOCOM）が開発しています。

### <教材・ワークシート開発>

今度 珠美（鳥取県教育委員会デジタル・シティズンシップエドゥケーター／国際大学GLOCOM客員研究員）  
林 一真（名古屋市立大坪小学校 教諭）

### <コンテンツ監修委員会>

坂本 旬（法政大学キャリアデザイン学部 教授）  
芳賀 高洋（岐阜聖徳学園大学教育学部 教授・DX推進センター長）

### <映像・キャラクター制作>

プロデューサー 丸山 俊一（NHKエンタープライズ エグゼクティブ・プロデューサー）  
ディレクター 小寺 寛志  
アニメーション KIITOS LAB inc,  
編集 熊本 春樹  
音響効果 斉藤 裕之  
声の出演：  
前田 沙耶香（長女・未っ子・NA）  
祖山 桃子（次女、そのほか女性）  
宮坂 俊蔵（男性役）

### <全体企画・監修・統括>

豊福 晋平（国際大学 GLOCOM 主幹研究員 / 准教授）  
菊地 映輝（国際大学 GLOCOM 研究員 / 講師）  
小林 奈穂（国際大学 GLOCOM 主任研究員 / 研究プロデューサー）





教材利用に関するお問い合わせ：

国際大学グローバル・コミュニケーション・センター (GLOCOM)

担当：小林

[steam@glocom.ac.jp](mailto:steam@glocom.ac.jp)

著作・制作：

国際大学グローバル・コミュニケーション・センター (教材企画)

NHK エンタープライズ (映像・キャラクター制作)

政府標準利用規約 2.0 (後継バージョンがある場合は、それも可) に基づき利用を許諾する。

出典表記は、国際大学 GLOCOM/NHK エンタープライズとする。(文字表記の場合)